



家庭数

九条弘道

— 学校だより —

京都市立九条弘道小学校

校長 木村 和美

令和2年10月14日

前半学校評価号

Tel:671-6981

Fax:691-3458

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kujokodo-s/>

「R2年度前半学校評価アンケート」の集計結果をお知らせします

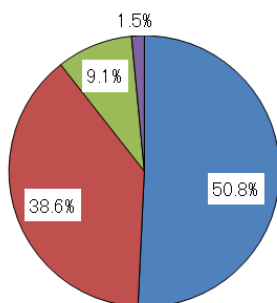
本校では、年2回(前半・後半各1回)、教職員、子ども、保護者の方々に対して「学校評価アンケート」を実施しております。このアンケートは、現在進めている本校の教育を振り返り、成果と課題を明らかにし、本校教育をさらに充実させていくために活用しています。

前半アンケートの集計結果をご覧いただき、子どもたちをよりよく育むために学校、家庭、地域で今後できることをぜひそれぞれのお立場で考えてみていただければと思います。

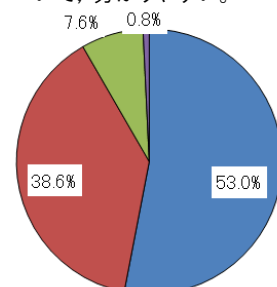


R2『子どもアンケート(前半)』集計結果

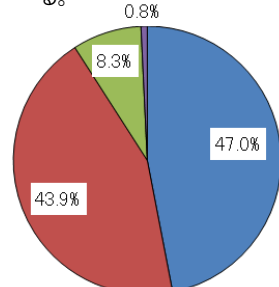
①学校生活が、楽しい。



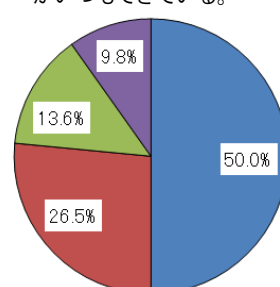
②授業は、めあてとまとめふりかえりがはっきりして、分かりやすい。



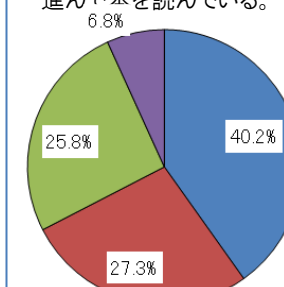
③授業中、しっかり話を聞いて、学習に取り組んでいる。



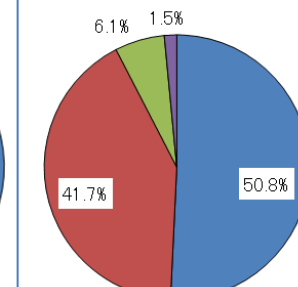
④家で、15分×学年以上の学習(自学自習も含めて)がいつもできている。



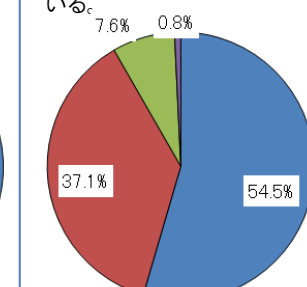
⑤図書館を利用するなどしながら、学校でも家でも進んで本を読んでいる。



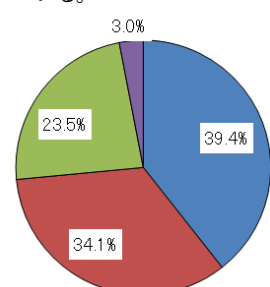
⑥友達の気持ちを考え、だれとも仲良くできている。



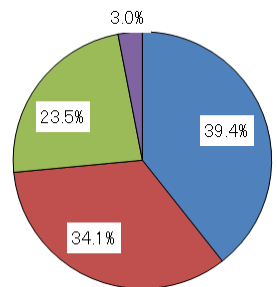
⑦学校のきまり「九条弘道つ子のやくそく」をしっかり守っている。



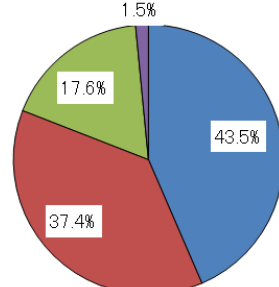
⑧相手を意識して進んで自分の意見を話している。



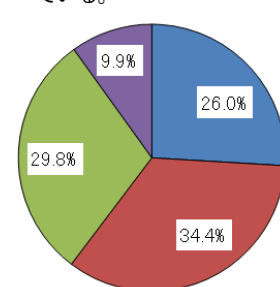
⑨そうじの時間は、すみずみまできれいにしている。



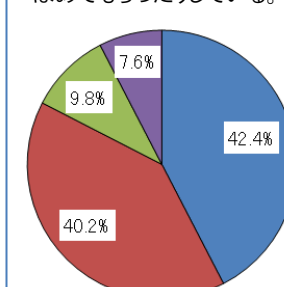
⑩誰にでも、自分から進んではっきりとあいさつしている。



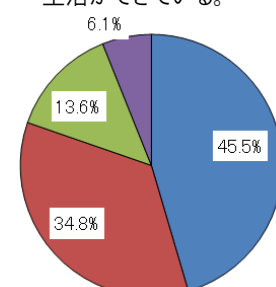
⑪クラスの人や他学年の人、学校などの役に立っている。



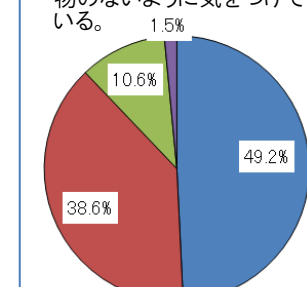
⑫自分がしたことで、人に「ありがとう」と言ってもらえたり、ほめてもらったりしている。



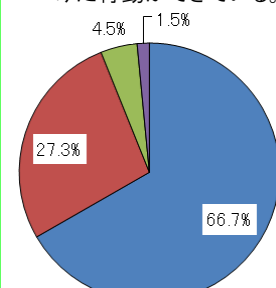
⑬早寝・早起き・朝ごはんなど、健康に気が付けた生活ができている。



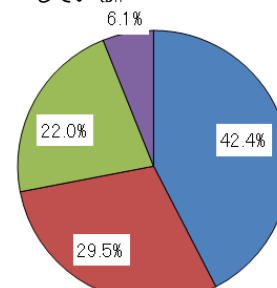
⑭家で、えんぴつをけずるなどの学習準備をして、忘れ物のないように気をつけている。



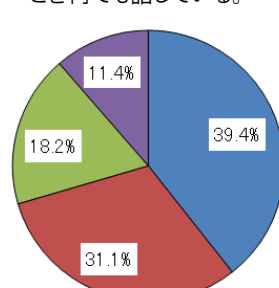
⑮日ごろから安全に気をつけた行動ができている。



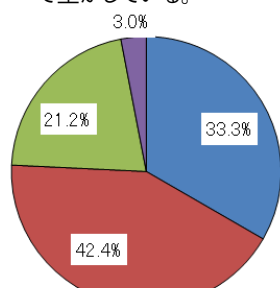
⑯家で、お手伝いをしている。



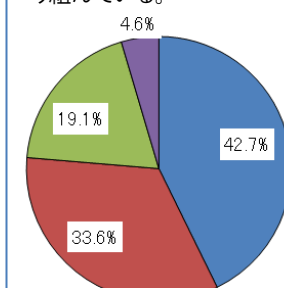
⑰家の人に、学校であったことを何でも話している。



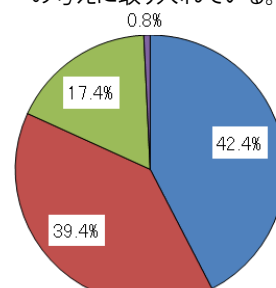
⑱学習したことを生活の中で生かしている。



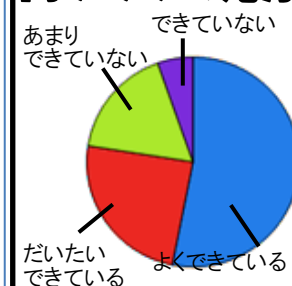
⑲目標に向かってねばり強く取り組んでいる。



⑳友だちの意見を聞き、自分の考えに取り入れている。



円グラフの見方



R2「保護者アンケート(前半)」集計結果

	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
1	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	6.9	5.8	15.2
2	子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	6.6	4.9	20.5
3	子どもは、家で進んで読書をしている。	6.1	3.7	26.2
4	子どもは、明るく元気なあいさつをしている。	6.8	4.8	21.8
5	子どもは、時間を意識した生活をしている。	6.6	4.3	24.4
6	子どもは、身の回りの出来事に興味をもって見ている。	6.3	4.9	19.5
7	子どもは、何事にも挑戦し、進んで行動している。	6.4	4.4	23
8	子どもは、誰とでもなかよくしている。	6.2	5.1	18
9	子どもが楽しく学校生活が送れるように、生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)を整えている。	6.8	5.4	17.7
10	子どもが家庭で学習できるように、環境を整えたり、言葉かけをしたりしている。	6.6	5.2	18.5
11	子どもに本とふれ合わせたり、読み聞かせをしたりしている。	6	3.7	25.8
12	「おはよう」や「おかえり」などのあいさつを大人からするようにしている。	6.6	6.1	12.5
13	子どもの話を手を止めて聞いている。	6.5	4.3	24.1
14	子どもが自分で決めて行動する機会を多くとっている。	6.6	4.4	23.8
15	社会や人のために行動しようとする姿をほめ、大人も心がけている。	6.6	5.1	19.1
16	意見の違いや立場の違いを理解できるように、子どもに声かけをしている。	6.4	5.1	18.6
17	授業は、分かりやすく工夫されている。	6.8	5.1	19.7
18	子どもたち一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている。	6.8	5.2	19
19	気になることがあれば、気軽に学校に相談できる。	6.7	5.4	17.4
20	学校は、ホームページで学校の様子を積極的に伝えている。	6	5.6	14.4

「保護者アンケート集計結果」の見方

重要度 保護者の方が重要だと考えている割合(最高値は7)
実現度 どの程度実現できているかを自分の子どもの姿を見て数値で表したもの(最高値は7)

- 「重要度」、「実現度」とも7に近いほど、重要であり、また実現できているということになります。
- 特に「高いもの」と「低いもの」に色をつけてあります。
(高い…ピンク, 低い…黄緑) ※カラー版はホームページでご確認ください。

質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
子どもは、楽しく学校生活を送っている。	6.9	5.8	15.2
子どもは、家で進んで読書をしている。	6	3.9	24.6
子どもは、明るく元気なあいさつができています。	6.7	4.9	20.8
子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	6.6	4.9	20.5

ニーズ度

- 「重要度」×(8-「実現度」)で計算し、数値化したもの
- 重要だと考えているにも関わらず、実現ができていないほど数値が高くなります。
→「ニーズ度」の数値が高いものほど、課題性があるといえます。
「25」以上のものを「重点課題」とし、色づけしてあります。

例 「重要度」=7, 「実現度」=2の場合 $7 \times (8-2) = 42$ 課題性(大)
「重要度」=5, 「実現度」=6の場合 $5 \times (8-6) = 10$ 課題性(小)

【考察】「前半学校評価アンケート」

【子ども・保護者アンケートより】

- ・「進んで読書をしている」という項目の数値が上がっていました。学校図書館の活用や毎朝のパワーアップスタディでの読書の取組の効果があったことが分かります。一方で保護者アンケートでは、「家で進んで読書をしている」という項目でニーズ度が高くなっています。みんなでの取組となると読んでいるものの、自分だけとなると難しいところもあるようです。これからも読書を推進し、本を読むことの楽しさを子どもたちが感じられるように取り組んでいきたいと思ひます。
- ・「人や学校の役に立っている」という項目の数値が大きく下がっていました。今年度は大きな行事がなくなり、高学年がリーダーとして活躍できる場がなくなったり、ソーシャルディスタンスを保つために、小グループで話し合いをしながら進めていく学習ができなかったりと協働的な学びの場がつかれなかったことが原因

因しているのではないかと考えます。これから少しずつではありますが、感染症予防対策を講じながらも、子どもたちが関わり合って、主体的に学んでいくことができる学習や取組を進めていきたいと思ひます。

- ・活動が制限される中でも、「学校生活が楽しい」という項目は変わらず高い数値を保っていました。このことは子どもたちが、学ぶことや友達と一緒にいることができることの喜びを感じているからではないかと考えます。
- ・「自分で決めて行動する機会を多くとっている」の項目のニーズ度が高くなっています。子どもが自分たちの生活を主体的につくっていく上で、「自分で決めて行動する機会」はとても大切な経験となります。自分で決めて行動することにより、その行動に責任を持つことができ、自分で決めて行ったという充実感を感じることができます。学校生活の中でも、子どもたちにできる範囲の中で、自己決定の場を多くとり、主体性を引き出していかれたらと思ひます。充実して活動できた時には、お家の人に聞いてもらいたいという思いをいっぱいもって帰ると思ひますので、手を止めて聞いてもらえたらと思ひます。